

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	都市緑地論演習						授業形態		演習	
科目コード	710087	単位数	4単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	関西 剛康								ICT活 用	○
授業概要	都市緑地論演習は、CADや生成AIをはじめとする最新のDX（デジタルトランスフォーメーション）技術を融合させ、持続可能な都市形成を目指し、人々に幸福をもたらす次世代のグリーンインフラを提案する実践的なPBL（課題解決型）授業です。ランドスケープアーキテクトとして必要とされる調査分析、計画立案、CADや生成AI等を用いた作図・ビジュアライズ、およびプレゼンテーション能力などの高度で多様な専門技術の修得を目指します。学習効果を最大化するため、授業は以下の3つの段階的な演習課題で構成し、基礎から応用へとステップアップしていきます。 課題①：アイデアと創造力の覚醒（第1～6回） ・「公園・夢プラン大賞」の「やりたい夢部門」を対象に、既存概念にとらわれない自由で豊かな公園・緑地の夢プランを提案します。 課題②：実社会のニーズに応える設計実務（第7～18回）※PBL課題 ・地場企業である「株式会社匠（都城市）」の新社屋をフィールドに、実際の企業ニーズや敷地条件をふまえたリアルな外構植栽計画									
関連する科目	本授業の履修前には基礎製図演習Ⅰ、基礎製図演習Ⅱ、庭園学演習、自然緑地計画論演習、コンピュータ・CAD演習、敷地計画論演習を、本授業と同時期には都市緑地論を受講することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	1. 授業の準備 1) テキスト代わりにPDF資料（約40頁）をユニバーサルパスポートの授業ツール（クラスプロファイル）にて配布。 2) 作品作成にあたり、各自がノートパソコン等を持参。 3) 作品作成にあたり、CAD、画像加工ソフト等を用いて行うことを基本とする。 4) また、製図道具一式、色鉛筆またはマーカー類、USB記録媒体等も必要がある場合は各自準備。 2. 授業の方法と進め方 1) 授業では、ランドスケープ作品の作成技術やその方法について指導する。 2) 学生各自の演習課題の進捗に応じて、授業中に個人指導を行う。 3) 演習課題に対して、学生各自がランドスケープ作品の作成を行う。									
授業計画 【第1回】	【課題①】アイデアと創造力の覚醒：「公園・夢プラン大賞」への挑戦 ・授業ガイダンス、公園運営の現代的潮流、コンペ「公園・夢プラン大賞」の概要説明									
授業計画 【第2回】	【課題①】アイデアと創造力の覚醒：「公園・夢プラン大賞」への挑戦 ・生成AI（テキスト・画像生成）の活用方法と倫理的注意点。自由な「夢プラン」のブレインストーミングとワークショップ形式による意見交換と課題の共有									
授業計画 【第3回】	【課題①】アイデアと創造力の覚醒：「公園・夢プラン大賞」への挑戦 ・先行事例の調査に基づき、草案を構想									
授業計画 【第4回】	【課題①】アイデアと創造力の覚醒：「公園・夢プラン大賞」への挑戦 ・企画のアイデア出しの解説。自身のアイデアのコンセプトを言葉で整理									
授業計画 【第5回】	【課題①】アイデアと創造力の覚醒：「公園・夢プラン大賞」への挑戦 ・夢プラン発表会の実施。各学生の提案をプレゼン（3分間）。									
授業計画 【第6回】	【課題①】アイデアと創造力の覚醒：「公園・夢プラン大賞」への挑戦 ・夢プラン発表会の実施。各学生の提案をプレゼン（3分間）。講評。									
授業計画 【第7回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・PBL①課題説明。株式会社匠の新社屋を対象とした気候風土、都市景観、企業ニーズ（おもてなし、ブランド価値向上、環境貢献）の整理。									
授業計画 【第8回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・敷地周辺の植生調査、日影・微気候、アプローチ動線の分析。実測と写真撮影による敷地データの収集。									
授業計画 【第9回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・調査内容の分析。各自の「デザインコンセプト（緑で企業価値を高めるシナリオ）」の策定。									
授業計画 【第10回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・敷地ベースマップの作成。ゾーニング（エントランス緑地、リフレッシュガーデン等の配置計画）の検討。									

授業計画 【第11回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・宮崎または都城の在来種リストを活用した植栽設計。地域の生態系（エコロジカルネットワーク）に配慮した高中低木の多層構造デザインの検討。
授業計画 【第12回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・植栽配置図（平面図）の作成。シンボルツリー、添景、地被植物の配置ルール、植栽リストなどの作成。
授業計画 【第13回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・平面図からの簡易なパース（鳥観図）の作成、または3DCADや生成AIなどによるモデリング。
授業計画 【第14回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・生成AIのコントロール技術を掛け合わせたハイクオリティな外構パース（視点場に応じた景観予測図）の制作
授業計画 【第15回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・プロフェッショナルな設計提案書の構成手法（コンセプト、平面図、植栽リスト、パース、維持管理手法）。 ・プレゼンテーションスキルの向上。 （※北海道大学が公開するオープンコースウェアの講義動画「プレゼンテーションのツボ（1/3）」（2012）教員：多田泰紘（アカデミック・サポートセンター）を補助教材として活用、 https://ocw.hokudai.ac.jp/lecture/skillup-presentation-2012?movie_id=15242 ）。
授業計画 【第16回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・企業意思決定を促す、プレゼン（パワーポイント）の最終レイアウト作業と発表スライドの作成。
授業計画 【第17回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・株式会社匠のゲスト審査員（クライアント）としてお迎えし、プロポーザル形式での提案発表（1人3～5分のピッチおよび質疑応答）。
授業計画 【第18回】	【課題②】実社会のニーズに応える設計実務：株式会社匠（都城市）新社屋外構植栽計画 ・株式会社匠をゲスト審査員（クライアント）としてお迎えし、プロポーザル形式での提案発表（1人3～5分のピッチおよび質疑応答）。 ・株式会社匠のゲスト審査員（クライアント）および担当教員からの講評。実社会のクライアントニーズと学生提案のギャップについての検証。
授業計画 【第19回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・PBL②課題説明。都城市の主要観光・レクリエーション拠点「観音池公園」を取り巻く現状、地域の人口動態や宮崎県の観光戦略の共有。
授業計画 【第20回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・行政計画、地域データを活用した広域的な課題抽出（エリア価値の低下原因、市民活動のポテンシャル、防災機能の検証）。
授業計画 【第21回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・地形、植生、アセット（既存施設、遊具、水辺）の稼働状況や利用者の行動の調査。
授業計画 【第22回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・課題のブレインストーミング。「どのようなアクティビティを誘発し、どう都市経営に繋げるか（プレイスメイキング）」の戦略立案。
授業計画 【第23回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・グリーンインフラ技術（雨水管理、生物多様性保全）やパークマネジメントなどの観点を踏まえたプレイスメイキングを融合させたエリア全体のマスタープラン（基本計画）の策定。
授業計画 【第24回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・企画書案の作成。ターゲット（観光客、市民ファミリー層等）に応じた利用体験シナリオ（ストーリー）の作成。
授業計画 【第25回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・マスタープランに説得力を持たせるための詳細設計。
授業計画 【第26回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・空中写真や景観写真をベースに、生成AIの画像加筆・レタッチ技術を駆使した「数年後のリニューアル景観ビジョン」のグラフィック（広域パース）化。
授業計画 【第27回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・行政向けの提案書の最終編集（グラフィックデザイン、スケール感の最終調整）。 ・プレゼンテーションスキルの向上学習。

授業計画 【第28回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・ピアレビュー（学生相互評価）による資料の微調整と、自治体向けのプレゼン戦略の決定。
授業計画 【第29回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・都城市担当者をゲスト審査員（クライアント）としてお迎えし、プロポーザル形式での提案発表（1人3～5分のピッチおよび質疑応答）。 ・株式会社匠のゲスト審査員（クライアント）および担当教員からの講評。実社会のクライアントニーズと学生提案のギャップについての検証。
授業計画 【第30回】	【課題③】地域課題を解決する経営戦略：都城市「観音池公園」観光高質化提案（第10週～第15週：第19回～第30回）※PBL課題② ・都城市担当者をゲスト審査員（クライアント）としてお迎えし、プロポーザル形式での提案発表（1人3～5分のピッチおよび質疑応答）。 ・都城市担当者および担当教員からの講評。実社会のクライアントニーズと学生提案のギャップについての検証。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 街区公園におけるランドスケープ・プラン&デザインを通じて、具体的な調査・解析からコンセプト、計画、デザイン、作図手法ならびにプレゼンテーションの基礎的技術の修得を目的とする。 2. 自ら作成した課題の作品発表を通じてプレゼンテーションを行うこと、客観性と専門性の高いプレゼンテーションとコミュニケーション能力を高めることを目的とする。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	1. 授業で配布するテキスト資料等を授業前に精読すること。 2. 予習は1時間程度行うこと。
授業時間外学習【復習】	1. 授業後にさらに理解を深めるためにテキスト資料等を再度精読すること。 2. 復習は1時間程度行うこと。
課題に対する フィードバック	1. 中間及び最終プレゼンテーションの際に、各課題に対するフィードバック（講評）を行う。 2. 評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説する。
評価方法・基準	1. 演習課題による提出物を評価（100点） 2. 授業への取り組みも評価（授業態度によってはマイナス評価も行う）
テキスト	1. 授業は、テキスト代わりにPDF資料（約40頁）をユニバーサルパスポートを通じて配布。 2. そのため、PDF資料については、事前に各自でダウンロードをして、第1回に授業に臨むこと。
参考書	1. 八木 健一（2022）：はじめてのランドスケープデザイン：学芸出版、pp176 2. 丸田 頼一・島田 正文（2012）：ランドスケープ計画・設計論：技法堂出版、pp324 3. 武田史朗・山崎 亮・長濱伸貴（2010）：ランドスケープデザインの歴史：学芸出版社、pp208
備考	本演習では、計画案の策定やパース作成において生成AI（ChatGPT、Gemini等）やDXツールを「デザインの相棒」として活用します。毎時間、インターネット接続が可能なノートパソコンを必ず持参してください。